

「居場所」になれば

会長 佐藤晴一



まず初めに、会報「おがの海」第1号を発刊できたことを喜びたいと思います。

経験のない編集作業に取り組んだ会員・関係者には深く感謝いたします。

さて、本会が運営する「男鹿地区更生保護サポーターセンター」通称「サポセン」ですが、ここは男鹿地区会の事務を執り行い、対象者との面接場所や「社会を明るくする運動」の準備室、理事会・各部会や企画調整保護司の会議室としても使われています。

時には、住民の方が相談事を持ち込んだり、地区会員が他の会議のついでに立ち寄って茶飲み話をしたりすることもあります。最も活用が多いのは、担当者が集まって、予定行事の内容や経費等を相談する場合の

ように思います。

男鹿地区保護司会は、退会を間近に控えた会員が多く、その中にぽつりぽつりと若い人が所属している状態になり、大きな世代交代の時期が迫っています。そうしたことから現在、退会する会員の後任者の確保が課題となっています。

会員は、それぞれ自分の住んでいる地域で町内会やPTA、自治体が運営する団体などにも所属していますが、それらの会の中で情報を集め、次への橋渡しとなる信頼して任せられる人材を探すことに力を入れています。

現在男鹿地区会では、定員の29名よりも多い30人が所属していますが、仲間は多い方が良くように思われます。

「サポセン」は、会員相互が高め合い、地域に開かれた場所になることが理想です。そのためにも、会員や校外学習の子供たちなどが気軽に立ち寄り、活動保護司に安心して相談できる

よう、会員それぞれがいつもこの意識をもって事に当たることを大切に、運営を進めたいと思っています。

男鹿は海に囲まれている。季節や天候により、毎日のように表情を変える海。時に穏やかに、時に荒々しく。

会報のタイトル... おがの海

人もまた、いつも穏やかにとはいかない。人間関係など、たくさんの方のストレスを抱えて生きている。それでも、互いに支え合い協力し合うことで、凪いだ海のように穏やかな生活が送れるようになるのではないかと。そんなことを願う、タイトルとした。

男鹿地区保護司会定期総会

4月24日、男鹿市民文化会館の大会議室を会場に、男鹿市長や男鹿警察署長などからもご出席いただき開会した。

市長の挨拶の中に、「観光客に男鹿半島巡りを楽しんでもらえるように、入道埼灯台近くに、月の満ち欠けをイメージした『モニユメント』を設置した」とあった。

置した」との説明があった。

入道崎のイメージアップと観光の活性化を期待したい。

協議では、令和5年度の事業報告や収支決算等の説明のあと、提案された令和6年度の事業計画と予算案について承認され、滞りなく定期総会を終えることができた。



更生保護制度施行75周年記念 秋田県更生保護第57回大会に参加して

新田眞理子



令和6年11月8日、男鹿地区保護司会から5名が参加し、あきた芸術劇場ミルハスのホールにおいて、県更生保護大会が開催されました。

初めに、小・中学生の「社会を明るくする運動」作文コンテスト優秀作品の朗読・表彰がありました。

続く記念講演では、特定非営利活動法人「仙台タルク」代表の飯室勉氏による「立ち直りと回復の真実」と題した講演がありました。

薬物依存者は自分を信じることができず、再犯を繰り返してしまいます。自分で依存を断ち切るというのは、見えないゴールに向かうように難しいことです。依存症は病気であり、心

も体もぼろぼろになっていく状態です。すぐに社会に復帰することはできません。改善を支援する人たちは、本人の思いをくみ取り、これを病気として理解しながら長い時間をかけて支援してほしいと願っています。

薬物に手を染めた自身の経験を踏まえ、心に響くお話をしてくださいました。



被表彰者

男鹿地区保護司会では、次の会員が表彰されました。

- 藍綬褒章 由利 均
- 法務大臣表彰 仙北屋昭弘
- 法務大臣表彰 新田眞理子
- 全国保護司連盟 理事長表彰 大淵 英悦
- 東北地方更生保護委員会 委員長表彰 奥山 祖道
- 東北地方更生保護委員会 委員長表彰 三浦 進
- 東北地方更生保護委員会 委員長表彰 海道 利夫
- 秋田県知事 感謝状 佐藤 徳朗
- 秋田県保護司会連合会 会長表彰 古仲 清尚
- 秋田県保護司会連合会 感謝状(家族功労者) 佐藤 幸美 (徳朗)

今年、移動研修として秋田地方裁判所の「新庁舎見学」に伺いました。

庁舎は、1968年に建造された旧庁舎が老朽化したことに伴い55年ぶりに建て替えられたもので、令和5年11月から業務が開始されています。

秋田地方裁判所を見学して

古仲 清尚

わたしたちは、法廷の独特な雰囲気の中で、刑事裁判や民事裁判及び三審制や裁判員制度の概要について説明を受けました。

法廷は、左右に弁護士人席・検察官席があり、中央上段の裁判官席は圧倒的な存在感を放っています。ドラマなどで見慣れた光景ではあるものの、実際に目の当たりにすると、特異で、重厚な空気感に包まれていました。

保護司は、裁判で何らかの処分を受けた人たちが、更生に向かう過程で関わります。

今回の研修では、社会復帰して確かな歩みを進められるように支援する、わたしたちの役割やその意義について今一度考えさせられました。

男鹿地区 自主研修

地上6階・地下1階で、法廷12室・調停室14室あり、最も広い3階の法廷には84席の傍聴席が備わっています。



あいさつ運動



おはようからの人間関係づくり

奥山 祖道

平成27年7月から保護司になったものの、これまではお寺の仕事の都合で参加できずにいましたが、今回初めて男鹿南中学校でのあいさつ運動に参加することができました。

当日は、森山直人校長や先生方・防犯協会の方々と、わたしたち保護司会の会員も一緒に玄関前に立ち、「想う、ときには足をとめ」をテーマにあいさつ運動を行いました。

生徒たちは、徒歩・自転車・スクールバス・車などで元気に登校し、互いに「おはようございます」と大きな声であいさつを交わしていました。

今回参加して、改めて生徒数や地域の世帯数の減少を実感しました。将来への不安や寂しさも感じますが、「あいさつ運動」は今後も続けてほしい運動であると思いました。



今年も、市内の小・中・高校、駅前・ショッピングセンターなどで行いました。



今年も、8歳の長男とペアマラソン(3.4km)を走ってきました。コロナ自粛が終わったためか、参加者が例年よりもすごく増えた印象です。私は、忙しくて練習が全くなかったため、完走できるのかと緊張しながらのスタート。序盤の溜め池周りのアツプダウンは何とか乗り切ったのですが、この辺りから、

走ってきました!

海道利夫



日本海メロンマラソンに参加して

「お腹が痛くて走れない」と、長男のSOSが。「歩いてもいいから、腕を振って止まらず頑張れ」と励ましながら、ゴールを目指して進み続けました。館山公園内に入ると応援してくれる人が増えたためか、長男は気持ちが回復し一気にスパートしました。私も、おいて行かれないように頑張って手をつなぎながらゴール。最後は、ほとんど歩いていたので、昨年よりもタイムは5分以上遅くなりました。でも、ゴールした時の達成感とご褒美のメロンは格別でした。来年も長男が付き合ってくれば頑張ります! 応援、ありがとうございます。



紹介します

「男鹿地区保護司会」の活動

男鹿地区保護司会名簿

(●:長 ○:副)

No.	ブロック	地区名	氏名 ●:ブロック長	役職	専門部会				企画調整	編集委員
					総務	研修	犯罪予	協組		
1	男鹿北	入道崎	●佐々木志穂	理事・会計	○					
2		男鹿中	高桑 和雄							
3		男鹿中	武田 英昭	理事				○		
4		北浦	仙北屋昭弘							
5		湯本	大淵 英悦	監事						
6		真山	山本 春司							
7		北浦	古仲 清尚							
8	男鹿南	仁井山	●伊藤 雅志	理事		○				
9		船川	由利 均	副会長						
10		船川	佐藤 晴一	会長						
11		船川	佐藤 哲彦							
12		金川	夏井眞智子							
13		女川	奥山 祖道						○	
14		羽立	鎌田 直哉							
15	男鹿東	百川	●佐藤 徳朗	事務局長						
16		船越	船木 正博							
17		船越	大嶋久美子	監事						
18		脇本	新田眞理子	理事	○					
19		浦田	三浦 進						○	
20		船越	東海林優子							
21		五里合	金 泰希							
22	船越	伊藤 智弘								
23	船越	太田 穰								
24	若美	松木沢	●中田 謙三	理事					○	
25		道村	嗟峨 義房	副会長						
26		渡部	長谷川成子						○	
27		小深見	木元 義博							
28		渡部	海道 利夫							
29	釜谷地	佐藤 孝悦								

専門部会名…総務部・研修部・犯罪予防部・協力組織部

本会では、今年初めて会報を発行することになりました。

保護司会のことをよりよく知っていただくため、新加入を含めた各会員の担当や「男鹿地区サポートセンター」の活動について紹介いたします。

- 場所
男鹿市船川港船川字片田 74
… 男鹿市保健福祉センター1階
- 時間
平日 9:30 ~ 15:30
… 企画調整保護司が常駐
- Tel/Fax 0185-27-8555
- 活動内容
 - ・ 保護観察所との連絡
 - ・ 対象者やその家族との面会
 - ・ 地域の関係機関・団体との連絡
 - ・ 他地区の保護司会との連絡
 - ・ 役員会やその他の会議
 - ・ 総会等の資料作成
 - ・ 配布活動のための事前準備等

サポートセンター内には各会員用の引き出しがあり、それには新たな配布物等が入っています。

それを受け取りがてら、お茶でも飲んでおしゃべりしていきませんか。コピー機やパソコンもあり、それらも利用できます。

どうぞ気軽にお立ち寄り下さい。

会員のご逝去

令和6年4月26日

佐藤 宏氏

男鹿地区保護司として永く務め、次の各表彰を受けておられます

- 瑞宝双光章
- 法務大臣表彰
- 総理大臣感謝状
- 市功労者表彰 民生功労

ご冥福をお祈りいたします



今号が最初の発行のため、取材・写真撮影・執筆・紙面構成と慣れない部分が多く、あちらこちらにご迷惑をかけることになってしまいました。

快くお引受け・協力をしてくださった皆様、誠にありがとうございました。

編集委員

- 奥山 祖道
- 海道 利夫
- 古仲 清尚
- 新田 眞理子

